

御挨拶

—— 在外教育施設を目指す先生へ ——

新潟県国際理解教育研究会会長の戸田道治(とだ みちはる)と申します。

当会は、在外教育施設経験者だけでなく、国際理解教育に関心をもった人たちで組織している会です。在外教育施設での実際の経験を基にしながら、これから海外へ挑戦しようとしている先生や現在赴任中の先生等とつながり合い支え合うことで、国際理解教育の普及と振興に寄与することを目的としています。



会員が経験した国・地域は幅広く、毎年、帰国報告会・実践発表会、支援セミナー等を開催しています。会員は帰国後も熱心に国際理解教育の実践に取り組んでいます。在外教育施設へ挑戦するか否かに関わらず、国際理解教育に関して実践したいことがあれば、お気軽に御相談ください。

もともと在外教育施設は日本の教材・教具を入手しにくい環境でありながら、令和2年に突然起こった世界的感染禍、その後も相次ぐ紛争や自然災害の中でも、赴任中の会員は教育実践を続けています。それは、まさに今、私たち教員一人一人に求められているカリキュラム・マネジメント能力です。

また、真偽を確かめるのが困難なほど、現在は情報が溢れています。だからこそ、自分自身で真偽を確かめ、価値を判断し、問題を見付けることが大切です。リアルに触れることは、教員としての資質・能力を確実に高めます。

世界の中で日本はどのように見られているのか、何を求められているのか、これからの教育には何が大事なのか、それを子どもたちにどう伝え、何を考えさせるか等、在外教育施設での勤務はこれらの事柄について考えざるをえない機会であり、教員として大きく成長できるチャンスです。

さらに、再任用や定年延長など、教員としてのキャリア形成の仕方も変わっています。在外教育施設においては、ますますシニア派遣の役割が高まっています。シニア派遣を希望する方にも、当会はお役に立てるはずです。

当会主催の研修会は、正会員でなくても参加することができます。オンラインで参加できるものもあります。まずは気軽に、参加してみてください。